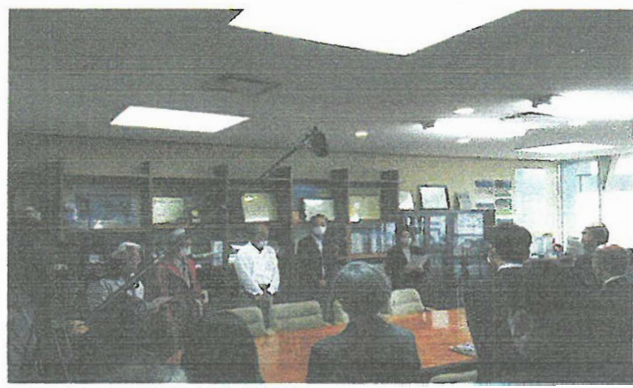


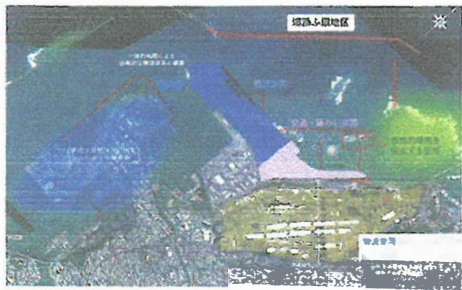


西海岸の保全活用訴える 里浜22 県や関係機関 議会等に

、西海岸開発の在り方を問いかける、初めての要請行動です。コロナ対応に迫られる行政との日程調整が難航したが、県を始め那覇市や浦添市当局、議会関係、那覇港管理組合など計画を進める全当事者に要請することができました。3月末、新たな「民港配置案」が発表されましたが、「自然海浜を活かした開発を目指すべき」という市民の声は日に日に高まっています。

開発計画を推進する関係者の大胆な転換を期待したい。

（上写真は県への要請。下写真は那覇市議会久高議長への手交式。要請書は鹿谷代表から手渡された）



年度末、新型コロナが広がる中、**「民港配置」の新案発表**も十分反映されず、内容的に疑問や問題点が多く特に浦添ふ

頭計画は、その必要性、需要予測、リゾート計画と人工ビーチ計画など思い通りの感じが強い。自動車専用道路もどこを走らせるつもりか？説明も全くない。軍港位置はあえて伏せているのか？
県、那覇市も「西海岸の自然海浜は大事にしたい」と語りSDGsに配慮して「埋立面積を縮小したとしているが、西洲側はサンゴが群生している場所。埋立てで貴重なサンゴが失われる。カーミージー側に連続して海草藻場も広がっている。海流



床拭きも自主的に！
～公民館空手同好会～
中・高生が率先垂範。小学
高学年生も参加 いいね！

【訂正・お詫び】2月号で「400号」としたのは「340号」の間違いでした。

嘉陽宗保さんの協力で植え付け收穫したばかりのジャガイモを「高齢者の皆さんにも味わって貰おう」とこのほど、公民館で活動する子どもたちが「おすそ分け」で訪問しました。感心ですネ！

ジャガイモをどうぞ！ 独居高齢者に配る



の流れも変わる。全体の生態系保持は？キンザー跡地利用の面から「最善策とはいえない」と再検討を求める提起も出ている。「開発ありき」の考え方を白紙化し、改めて浦添・沖縄の「時代に見合った発展の在り方」について行政は市民対話の中で進めるべき、と強く訴えていきたい。

自転車譲ります

サイクリング仕様です

最近まで愛用していたサイクリング自転車（写真）ですが「愛着はあるが年齢的に限界。大事に乗っている方に乗って貰いたい」とそう語るのは徳田信雄さん（2班）です。普段は屋内で保管し、手入れなどから出るときも上で行うなど大事に扱っているとのこと。希望者は直接本人か自治会（銘苅・嘉陽）に連絡下さい。



ご寄付に感謝します

一般寄付「牧港中央バプテスト教会から、この程「地域活動に役立てて下さい」と金一封のご寄付がありました。

新規加入がありました

◇上里翼、妻・真子さん（4班）小学生の子ども達4人の大家族。翼さんは拓琉金属に勤務し、鉄骨資材提供でも尽力して貰いました。長女（小3）と長男（同1）は公民館で空手やサンシン教室で活動中。

◇石原宏紀、妻・奈津子さん（7班）宏紀さんは市社会福祉協議会に勤務し、現在ボランティアグループを担当。中学校区のCSWを担当した経験もあり、今後の地域活動でも期待したい。

総会開催見送りました

配付資料をお読み頂き、今後の活動にご協力お願い致します